

金山町民の新型コロナウイルスワクチン接種状況 (8月12日現在)

区 分	接種対象者	接種人数	接種率
① 高齢者 (65歳以上) 5/1時点で、年度内到達者を含む	2,022人	1回目：1,814人	89.7%
		2回目：1,798人	88.9%
② 一般 (16歳～64歳) 4/22時点で、年度内到達者を含む	2,631人	1回目：2,273人	86.4%
		2回目：2,211人	84.0%

12歳から15歳の接種については、1回目を9月26日、2回目を10月17日に実施する予定です。併せて、これまでに接種を受けていない16歳以上の方についても、希望があれば接種できます。ワクチンの接種についてお悩みの方や不安なことなどがある場合は対策室にご相談ください。

☎ 新型コロナウイルスワクチン接種推進対策室 (健康福祉課内)

☎ 0233-52-2111 (内線264・265) / 080-8603-6209 / 080-8603-6210

ワクチン接種後にもご注意ください 新型コロナワクチンQ&A

Q 新型コロナワクチンってなに？

A mRNA (メッセンジャー RNA) ワクチンは新しい仕組みのワクチンです。ウイルスのタンパク質をつくるもとになる情報の一部を注射します。それに対する抗体などができることで、ウイルスに対する免疫ができます。

Q ワクチンの効果は？

A 新型コロナウイルス感染症の発症を予防します。ワクチンを受けた人が受けていない人よりも、新型コロナウイルス感染症を発症した人が少ないということが分かっています。発症予防効果は約95%と報告されています。

Q 接種後、抗体検査は必要？

A ワクチンの効果は高く、接種することで発症を約95%抑えることができますといった結果が報告されています。しかしワクチン接種後に抗体検査をしたとしても、実際に予防効果があるかどうかを推測できるわけではないのでワクチン接種後の抗体検査は必要ないと考えられています。

Q 集団免疫ってなに？

A 人口の一定割合以上の人が免疫を持つと、感染患者が出て、他の人に感染しにくくなることで、感染症が流行しなくなる状態のことです。

Q ワクチンの持続期間は？

A ファイザー社のワクチンの場合、2回目接種後6ヶ月の発症予防効果は91.3%であったという報告もあります。効果の持続期間や、感染を予防する効果についても、時間の経過や接種者数の増加に伴い、研究が進んでいます。

Q 接種後もマスクは必要？

A ワクチンを接種することで、接種した人の発症を予防する効果だけでなく、感染を予防する効果も示唆するデータが報告されています。しかしその効果は100%ではないため、引き続き感染予防対策を継続していただくようお願いします。

Q 接種の「努力義務」ってなに？

A 「接種を受けるよう努めなければならない」という予防接種法の規定のことで、義務とは異なります。感染症の緊急のまん延予防の観点から、皆様に接種にご協力をいただきたいという趣旨から、このような規定があります。

Q 変異株にも効果がある？

A ウイルスは絶えず変異を起こしていくもので、小さな変異でワクチンの効果がなくなるというわけではありません。それぞれの変異株に対するワクチンの有効性がどのくらいあるのかについても、確認が進められています。

Q 接種後に献血をしても良い？

A 献血は、ファイザー社及び武田／モデルナ社のメッセンジャーRNAワクチン接種後は、48時間が経過した後にお願いしています。アストラゼネカ社のワクチン接種後の献血は、現時点ではご遠慮いただいています。

コロナワクチンについて
(厚生労働省)



新型コロナウイルスについて
(山形県ポータルサイト)



＝スムーズなワクチン接種を実施することができた概要をお知らせします＝

地域をあげての協力で実現できたワクチン接種



■対策室の立ち上げ

昨年、12月18日の国の説明会で、2月には医療従事者の接種が開始されると説明を受け、1月8日には、町立金山診療所と健康係で打ち合わせを開始しました。打ち合わせの中で、相応な事務量が予想されたため、新型コロナウイルススワクチン接種推進対策室と、プロジェクトチームを設置しました。その後、「金山町新型コロナウイルススワクチンに係る住民予防接種実施計画」を作成。早期に2回のワクチン接種を完了させるため、1日に多くの方が接種できる集団接種という方法を進めてきました。しかし、なかなかワクチンの供給の目途が立たず、接種の日程を確定することに時間がかかりました。

■高齢者の集団接種にむけて

高齢者のワクチン接種は、地区ごとに日時を指定して実施しました。集団接種を行う前のシミュレーションには、さわやかサロンの皆さんからご協力をいただき、高齢者に合わせた刻みの移動の工夫、車椅子での来場者への配慮をしつつ、問診、予診、接種の流れを確認することができました。そして、円滑に行われた大きな理由の一つに消防団員の皆さんの協力があり、消防団員には移送バスに乗車する前の体調や持ち物の確認を行っていただきました。

■安全な接種を提供するために

対策室では、より安全な方法でワクチン接種を実施できるように接種日ごとに振り返りを行い、集団接種会場では、一度に多くの人が集まるため、座った椅子は一回ずつ消毒を行うなど感染対策について何度も改善を重ねました。また、ワクチン接種後に血管迷走神経反射で気分不良を訴える方もおりましたが、その場ですぐに医師と看護師が対応を行い、全日程を通し、予防接種会場で注射によるショック症状の方はいませんでした。

■皆さんのご協力で実現できたワクチン接種

今回のワクチン接種では、診療所の手塚医師、桜クリニックの桜本医師、応援医師の菅井医師からは予診を担当していただき、診療所看護師からは、ほぼ全員体制で連日の注射薬液準備と接種を担当してもらいました。金山町の集団接種が県内でも比較的早く、何事もなく終了できたのは、時間を守ってバスに乗車し決まった時間に会場まで下った町民の皆さん、消防団員、町内事業所、医師などの協力があったからです。皆さんのご協力に感謝します。

高齢者と、16歳～64歳までの方の集団接種は終了し、9月からは、12～15歳の方と今まで接種できなかった希望者の方の接種を予定しています。7月下旬から県内でも感染が再拡大しており、2回接種したとしても感染リスクがありますので、引き続きマスクや手洗いでの感染予防と、3密対策、会食、県外の人との交流にご注意くださるようお願いいたします。